

今後の土砂災害対策の進め方検討委員会

開催趣旨

大阪府は、大阪平野を中心に北に北摂山系、東に生駒山系、南に金剛葛城山系、和泉山脈の三方を山で囲まれた地形であり、府内には土砂災害の発生する恐れのある箇所が 4,361 箇所も存在しています。

また、都道府県の中では 3 番目に人口が多く、近年の人口増に伴い都市化が山麓、山間部までひろがり、ひとたび土砂災害が発生すると甚大な被害が生じる恐れがあります。

これまで、大阪府では都市基盤整備計画を策定し、計画的に土砂災害対策施設の整備を実施してきたところですが、その整備率は約 3 割程度と低い状況となっています。厳しい財政状況、また、近年の気候変動による想定を上回る災害が発生している現状の下、施設整備だけで土砂災害から府民の安心安全を確保するのは不可能といっても過言ではありません。

従いまして、ハード対策と併せてソフト対策の両面から総合的に土砂災害対策を推進していく必要があります。限られた予算の中で、「人命を守ることを最優先」を基本理念として、如何に効果的・効率的に府民の生命を土砂災害被害から防止するかが重要な課題となっております。

そこで、「今後の土砂災害対策の進め方検討委員会」を開催し、学識経験者からこれらの課題への対応策についてご意見をいただき、「適切な避難行動支援」（「逃げる」社会システムの構築）、「適切なまちづくり支援」（「凌ぐ」まちづくり支援）、「効率的な施設整備の実施」（「防ぐ」箇所の重点化）等、今後の土砂災害対策の基本的施策の立案に資するものとしします。